

○ 先端技術公開セミナー ● 13:00-14:30 ○

情報技術の「見えない」イノベーション

講師：前田 英作 氏

(NTTコミュニケーション科学基礎研究所 所長)



技術革新そのものがイノベーションであった蒸気機関や活版印刷機などの機械技術と比べると、情報技術は少し特殊な位置にあります。ある製品やサービスを指して、イノベーションが起きたと世の人は言うけれど、そして情報技術も使われているはずだけれど、情報技術の重要性が伝わっていないと、専門家は嘆きます。それが、【情報技術の見えない】イノベーションです。一方、製品やサービスに直接、あるいはすぐには反映されないところで、情報技術の各分野で何年かに一度とてもすごい技術革新が起きています。ところが、情報技術のさらにその中の一分野の専門家しかそのことに気がついていません。それが、情報技術の【見えないイノベーション】です。本講演では、情報系基礎研究の現場における【見えないイノベーション】のいくつかを紹介してみたいと思います。

2014年度 名古屋大学大学院

受講料無料

2014年
9.26 金
[13:00-17:30]

情報科学研究科 公開セミナー

○ 基盤研究公開セミナー ● 15:00-17:30 ○

実世界データ循環学

— 価値創造人材の育成に向けて —



高齢化、グローバル化、資源問題など、社会環境が日々大きく動いています。モノづくりを中心にした我が国産業がイノベーションを担い続け、国際的な産業分業の中心的役割を担い続けるためには、新たな価値を創造し続けることが不可欠です。名古屋大学に新たに発足した博士課程プログラム「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」では、データの取得・解析・実装に関する研究を総合する視点から、次世代の産業科学のリーダー人材を育成します。本講演では、「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」の研究と人材育成の理念についてお話しします。

講師：武田 一哉 教授 (名古屋大学)

自動走行の実現に向けて

— 広がるCyber Physical Systemの応用 —



CPS (Cyber Physical Systems) は、組み込みシステムやリアルタイムシステム、分散システム、センサネットワーク等の情報通信技術を統合して、物理世界の理解、認識、または制御をこれまでよりも大きなスケールで実現するための技術です。ここでいう物理世界とは機械、人、社会などが含まれます。もし、どんなデータでもリアルタイムに取得、解析、フィードバックが可能なら、新しい製品・サービスを生み出すことができます。近年話題になっている自動運転技術は、まさにその好例です。本講演では、CPSの研究動向と、それをを用いた自動運転の研究について紹介します。

講師：加藤 真平 准教授 (名古屋大学)

■ 開催予定日

2014年9月26日(金) 13:00-17:30

■ 開催場所

名古屋大学情報科学研究科棟1階第1講義室

■ お問い合わせ先

大学院情報科学研究科 広報渉外委員会
担当：庶務掛 052-789-4716 gsis@is.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学大学院情報科学研究科主催

